

## Signing Ceremony of Joint Research between IITH, Hitachi Zosen, Isgec Hitachi Zosen and JWRI

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業運営委員会 委員 菅哲男

接合科学研究所 客員教授

2016年8月30日に、IITH(インド工科大学ハイデラバード校)、日立造船、Isgec Hitachi Zosen(日立造船のインド合弁会社)と阪大(接合科学研究所)の4者間の国際共同研究に関する覚書の署名式を、早稲田大学(小野記念講堂)で行いました。IITHのDesai学長とReddy教授、日立造船の北側研究所長と亀崎採用担当、阪大の菅客員教授、JICAの中野専門員と松尾コーディネーターが参加しました。共同研究は、「波形制御サブマージアーク溶接の溶融現象」(リーダー：田中接合研所長)に関するもので、本年10月から2年間の計画で実施されます。

IITHと接合科学研究所は、国際交流協定の締結(2012年11月)、さくらサイエンス(JST)によるIITH学生受入れと共同研究の実施(2015年7月)、ワークショップの開催(2013年11月、2015年2月)、IITH生と阪大生のCIS(カップリング・インターンシッ

プ)の実施(2014年9月、2015年9月)など、活発な連携活動を行って来ています。CISは、日立造船との連携で、Isgec Hitachi Zosen(ダヘージ)で実施しています。これらの活動を背景として、今回の4者間の共同研究は立ち上がっています。

JICAは、IITHと日本の大学との交流を推進しており、今回は早稲田大学でIITH・日本の産学連携セミナーを開催しました。Desai学長の本セミナーへの参加に合わせて、共同研究の署名式を実施しました。また、JICAはIsgec Hitachi ZosenでのCISの開催で強力な支援をしており、今回の共同研究の発足にも大きな貢献をしてくれています。

日本企業と海外・日系企業を含めた大学間の共同研究は多くはなく、新たな連携の試みとなります。4者のシナジー発揮により、世界に発信できる研究成果を出していく予定です。

